

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 2027年国際園芸博覧会出展事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111(内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,024 千円 (前年度予算額： 1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	0	0	1,000
要求額	4,024	0	0	0	0	0	0	0	4,024
決定額	4,024	0	0	0	0	0	0	0	4,024

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

1,500万人の参加が想定される世界最大規模の園芸博覧会において、岐阜県の優れた花き・園芸技術を展示することにより、自然豊かで自然と共生した生活をおくる岐阜県の魅力やライフスタイルを国内外に発信し岐阜県の価値を高め、誘客等へ繋げるとともに、県産花きの需要拡大、県内生産の拡大に資する。

(2) 事業内容

●出展主体の運営

県及び花き業界、異業種が参画する「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」を出展主体とし、出展に向けた各種調整を行う。

●県ブース (屋内出展) の施工・管理

出展小間に応じた県産花きや花飾り文化をPRできる出展小間の施工・管理を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が構成員である「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」が出展主体となって、園芸博覧会に出展するため県がその一部を負担することは妥当である。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	4,024	出展負担金
合計	4,024	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ花と緑の振興計画（仮称・令和8年3月策定予定） 2 「花と緑の文化振興」

(2) 国・他県の状況

○国の状況

令和8年度概算要求において、農林水産省及び国土交通省が所要額を計上。

農林水産省 61.6億円（会場建設、政府出展委託準備、施設整備等）

国土交通省 58.4億円（都市構築支援事業、政府出展調査、関係経費）

○他県の状況（屋内出展）

- ・ 34県が出展内定（全期間出展が2県、短期間出展が32県）

(3) 後年度の財政負担

- ・ 令和9年度まで財政負担あり

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 県と花き業界が一体となって、国際園芸博覧会の屋内出展を行うには、既存の枠組みである「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」を事業主体とすることで、効率的・効果的な事業の推進が可能であることから妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年3月から開催される2027年国際園芸博覧会を契機に、花の需要を拡大し、花き産出額を増加させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①出展に参画するコンソ会員数	0	-	6	13	20 (R9)	0%
② 主要品目の花き産出額（億円）	46	43	-	46	53	81%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪・関西万博が大成功にうちに閉幕し、次に国内で開催される2027年国際園芸博覧会への期待が高まっている。出展することで、本県の花きのPRや需要喚起につながる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金方式で実施することで、ぎふ花と緑の振興コンソーシアムの民間の知恵や資金の活用につながっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・事業をより効果的に進めていくためには、関係機関・団体が連携し一体となった取り組みを展開していかなければならない。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・国際園芸博覧会に出展し、国内外に本県花きをPRすることで、本県の価値が高まり、誘客等に繋がるとともに、県産花きの需要拡大、ひいては県内生産の拡大に繋がる。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	国際園芸博覧会への出展(屋外出展)【都市公園課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	屋内外に出展することで、本県の庭園や園芸文化、花きがより多くの来場者の目に触れ、PR効果が高まる。